

十月五日 昨日果、強行軍ニ疲、河橋心セルモ勇ヲ鼓シ、船トト急行軍以テ

全曜日 午前二時長興ニ到着ス

踏 一 同時露管ニ関スル命令ヲ受領ス其ノ要旨九ノ如シ

長興 一 敵ハ長興ヲ放棄シ退却セルモ、知レ市內ニハ敵残兵ノ

潜伏少カラス

二 聯隊ハ長興西南部ニ露管ニ管ス

三 第三大隊ヨリ露管衛兵約一小隊井ノ嘴ヲ西方ニ

通スル道路出口ニ差出ス

一 午前二時十分九記大隊命令ヲ下達ス

大隊命令

十月三日午前二時十分  
長興大隊本部

一 敵情及友軍ノ情況ハ聯隊命令ノ如シ

二 大隊ハ聯隊命令ニ基キ長興ニ露管セントス

三 露管管勤務トシテ九ノ通り差出ス

(1) 第十中隊ハ一小隊ヲ差キ露管司令部ヲ指示ヲ受ケルヘシ

(2) 第十中隊ヲ下士哨一組ヲ差キ本道上長興西端入口、

敵警戒ニ任セムヘシ

(3) 部隊日直將校

巡察將校 ノ幕ルモルトス

大隊長

信澤少佐

下律法

命令受領者集、口達筆記セシム

注意

火災予防ニ注意スルコト

午前八時左記要旨ノ聯隊命令ヲ受領セリ

(一) 小銃及片携行彈藥ノ半數ヲ各隊毎(本部共)ニ取纏

ト本日午前九時迄ニ提出スベシ

(二) 右ノ彈藥引繼書三通ヲ作ルコト

(三) 午前十時以前ニ出發ノ豫定ナシノ物資ノ發給ヲ實施シ

携行糧秣ヲ完全ナラシムベシ

午前十時聯隊本部ニ於テ携行彈藥半數ヲ取込支隊ニ

手交スル爲廣瀨伍長及

使役一名ヲ以テ彈藥ヲ渡ス

各中隊、彈藥數九、如左

隊別	現在	引継	彈數	備	要
0		七二〇	七二〇	但、大小行李、隊キ、若、二村、ル、六、發、地	
9					
10		九〇一〇	二〇九九二	輕機、銃、共	
11		一一、五三五	二〇、八五三	小銃、一、六、一、三、(一人、多、リ、百、十、七、發、)	
12	三三四八〇		三〇、八三四		
179	二二五六〇	四三二〇	四二〇〇	一銃、當、リ、馬、携、行、介、五、六、四、〇	

一、午後二時、左記、聯、隊、要、旨、命、令、ヲ、受、領、ス

(一) 敵情、友軍、狀、況、変、化、ナシ

(二) 旅團、ハ、長、興、北、部、ニ、宿、營、地、ヲ、移、轉、ス

(三) 第十一、十二、中、隊、ヨリ、一、ケ、小、隊、ヲ、出、シ、工、藤、中、尉、ノ、指、揮、ヲ、受、ケ、シ

ハ、工、藤、中、尉、ハ、聯、隊、本、部、ニ、趣、キ、指、示、ヲ、受、ク、シ、服、裝、ハ、輕

裝、ニ、シ、テ、山、越、携、行、ト、ス

一、同、時、九、記、參、謀、長、ノ、注、意、事、項、ヲ、受、ク

ハ、西、洋、人、ノ、建、物、ヲ、流、サ、ル、コ、ト

各宿舎毎ニ便所ヲ設備スルコト

火災消防ニ注意スルコト及ヒ消防隊ヲ編成シ置

ケル要ス

午後二時大隊副官ヲシテ設営ニ任セシムルト共ニ各隊毎ニ

宿營地ヲ移轉シ實施ス

午後四時ニテ宿營地移轉ヲ終了シ其旨聯隊長ニ報告ス

左記大隊命令ヲ下達ス

### 大隊命令

十月二十六日午四時五分  
聯隊長 長興 北野 大隊本部

(一) 師團、全團旅團命令ノ如シ

(二) 大隊上司、宿營命令ニ基キ北部長興ニ宿營セントス各隊

ハ大隊副官區所ニ設営者誘導スルニ務メ宿營要圖

ヲ如シ

(三) 尤、適リ諸勤務ヲ指シスヘシ

1. 第一中隊ヨリ一ケ小隊ヲ長興 南鎮道路上ニ位置セシメ主力

ヲ以テ同出口ヲ向同小隊ヨリ一部ヲ指シ長興 東北本ニ誘導

戒メセシムヘシ

2. 第九中隊より一ヶ分隊ヲ湖洲ニ至ル出口ニ指定シ湖洲ニ至ル出口  
警戒セシムヘシ

3. 第十三中隊ヨリ飛行場掩護トシテ半ヶ分隊(將校指揮)ヨリ右四  
時ヨリ分隊團司令部ニ指出シ露管官道(將校指示ヲ受ケシム  
ヘシ)

4. 部隊日直將校(巡察將校ヲ兼ヌ)

二十六日

第九中隊

吉田少尉

二十七日

第十一中隊

浅川少尉

二十八日

第十中隊

矢島少尉

勤務ノ交代ハ正午トス

5. 第十三中隊ハ銃前哨ニシテ東門方向、直樫警戒ニ任  
スヘシ

大隊本部銃前哨ヲシテ大隊露管地西端北側橋梁ノ  
直樫警戒ニ任スヘシ

(四) 緊急集合場ハ大隊宿管地西端長興縣政府前廣場トス

(五) 給與ハ携行糧秣ニ依ルヘシ

大隊長 信澤少佐

下等班

命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

會報

(一)各隊ハ別ニ示形式ニテ少細ニ人員ノ検査ヲ行ヒ一部報告ヲト

(二)參謀長注意事項徹底ニ就テ特ニ適切ナル指導ヲ監督

ニ努ムルコト

(三)各隊ハ現在ニ出ルマテノ武器被服ノ損耗ヲ調査シ明ニ十七日午

後五時直ニ提出スヘシ

本日總員將校五下ノ官兵ニ五 計三〇名



十月五日

土曜日

晴

長興

一極力部隊ノ整理ニ努メ本部各中隊ハ午前九時ヨリ兵器被

服ノ検査ヲ實施ス

一午前九時四十分迄記要旨ノ聯隊會報アリ

(一)各隊ハ其ノ編成ヲ明確ニシタル現況表ヲ本日午前十時十五分

迄ニ報告シコト

0928

(二) 湖洲戰鬥詳報ヲ本日中ニ提出ノコト

(三) 兵器手材料ニ関スル件

一 午前十一時三十分十月五日患者護送衛生隊ニ引渡シテ  
ル後追及ス

一 午前十一時三十分一五作命第三八号聯隊命令ヲ受領ス  
聯隊ハ現在地ニ於テ爾後ノ前進ヲ準備ス

各隊ハ速ニ戦力ヲ充實シ遅クモ二十九日以後隨時進發シ  
得ルノ隊勢ニアルニシ

一 午後三時露管日直將校トシテ服務ス

一 午後四時頃山本部隊(150)出發ニ伴ヒ諸敬警備ノ交代ニ關シ  
旅團命令受領

一 午後四時半聯隊日口命令受領

十一月十四日戦死セシ町田上等兵及町田一等兵各進級ス

一 同時兵器手入上ノ注意ニ關シル會報ヲ受領ス

一 同時頃第十中隊死傷者遺骨ニ在列着ス

一 午後九時頃荷營地南側ニ發射第九中隊ノ一小隊ヲ以テ鎮火セシム

一午後九時五分兵器手入用材料支給ニ關シ聯隊口口命令受領  
一大隊命令(午後九時五分)

(一) 明ニテ八日飛行場ニ於テ兵器手入油受領ニ關シ各隊公兵ニ  
名宛ヲ午前十時五分聯隊本部ニ差出シ原田鐵工伍長ノ指  
示ヲ受ケンムベシ

注意 第十三中隊ヨリ飛行場ヲ案内シ得ル者ヲ含ムヲ要ス

一昨午六日未終日上陸後始メテ一駐留隊ニ湖洲附近戦斗ノ整理等  
ニ事務多忙ヲ極ム

一湖洲附近戦斗ノ詳報ヲ提出ス

一患者療養所開設兵器手入材料支給ニ關スル師團會報受領

一左記命令受領

聯隊命令 十二月二十七日 午後九時五十分

(一) 山本部隊明早朝出發ニ付テ露營衛兵(半小隊)及張々鎮ニ  
到ル出口及西北出口ヲ警戒スルニ小隊ヲ第三大隊ニ於テ直子ニ交  
代セシムベシ

一右命令ニ基テ直子ニ右兩部隊ヲ第十一中隊ニ命ス



一年後十二時再ヒ火災起リ第ニ一二小隊ヲシテ消防ニ務ルシム  
一左記命令ヲ受領ス

歩一三八旅作命第三十八号

十一月二十七日午後十二時三十分  
於長興

歩一三八旅團命令

歩二五作命第三十九号

十一月二十八日午前一時  
於長興

聯隊命令

要旨左ノ如シ

一秋山支隊

十一月六日午後以來

茨浦鎮北方高地、敵ヲ攻撃中

十八師ノ先遣隊

一協カシテ廣徳東方地区ノ敵ヲ攻撃スル等

師團

一部ヲ以テ宜興及溧陽ヲ占領シ主力ノ南京ニ向テ前進ヲ

容易ナラシム

1500(天久)及既屬部隊ハ十一月八日長興發、張緒鎮一戴埠道ヲ

溧陽ニ向ヒ前進

旅團(500)一現在地ニアリテ爾後ノ前進ヲ準備ス

二聯隊ハ現在地ニアリテ爾後ノ前進ヲ準備ス

三各隊ハ速ニ戦力ヲ充實シ前進準備ヲ待勢ニアルベシ

四 1500 及 102 勤務交代ノ件

本日現員 將校五 下士官兵二七 計三十二名

十月二十八日 各隊ハ極力戦力ノ充實員ニ務メ出發ヲ準備ス

日曜日 一 永井大尉 露營日直將校勤務

晴 一大隊命令 十月二十八日午後八時三十分 於長興大隊本部

長興駐留 一 午後十時十分師作命 甲第四五号ヲ受領ス

(一) 明二十九日ヨリ左ノ通り露營ノ警備交代服務スベシ

1. 露營衛兵 半々小隊 第十三中隊ヨリ

2. 茨浦鎮道上警備 一小隊 第十一中隊ヨリ

3. 部隊日直將校 二十九日 清水少尉

一 情報蒐録ヲ受領ス 大隊長 信澤少佐

本日現員 將校五 下士官兵二七 計三十三名



十月三十日 午前二時十分頃左記 二五作命 第四号 聯隊命令ヲ受領シ來ル  
月曜日 聯隊命令ノ要旨 十月三十日午前二時三十分 於長興露營地

0932

晴  
長興ヲ出  
發シ大港ニ

(一) 秋山支隊、英浦鎮北方高地、敵ヲ擊破北進ニ十八日正午  
湯渡通過先遣隊一ニ十八日午後四時石廟通過北進  
師團ハ遂次兵力ヲ漂陽一宣興間ニ推進

旅團ハ本ニ十九日長興出發英浦鎮一丁山市一張諸鎮一敵  
埠鎮道ヲ漂陽ニ前進先遣隊(50名)ヲ併セ指揮シ師團  
ノ主力前進ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ先ッ大港ニ向ヒ前進ス  
(二) 聯隊ハ英浦鎮ヲ經テ大港ニ向ヒ前進ス

第十三中隊ハ旅團ノ尖兵中隊トナリ本隊ノ前方七〇〇米ヲ大港  
ニ向ヒ前進スヘシ

爾余ハ本隊行軍序列ニ依リ大港ニ向ヒ前進スヘシ

1/3 步兵 砲 2(砲) 11(砲) MG (-2) RMG III 1/2 MG 1/3

(三) 午前八時迄ニ北門ヲ先頭トシ縦上縦隊ニ集合スヘシ

聯隊長 矢ヶ崎 中佐

右命令ニ依リ大隊ハ午前八時整言急集合所ニ整列ヲ命ス

大隊ハ午前八時集合ヲ終リ出發本道ニ出行軍序列ニ入ル

英浦鎮南山ノ麓附近秋山支隊ノ戦跡ヲ偲ヒ大湖ヲ在

ニ見テ北進午後三時江浙省境ヲ通過シ浙江省ニ入ル  
午後三時南山附近行軍中露管ニ関スル命令第四十一号聯隊

命令ヲ受領ス

要旨尤々如シ

(一) 敵情新報ナシ秋山支隊ハ二十八日午後十時宣興ニ進マセリ

尖兵中隊(一八)ハ大港北側地區ニ位置シ北方ニ対シ警戒ス

(二) 聯隊ハ本夜大港附近ニ露管ス

(三) 露管日直將校 北村少尉

(四) 第三大隊ヨリ一分隊ヲ大港南端ニ出シ南方ニ対シ警戒

(五) 露管衛兵トシテ第三大隊ヨリ半々小隊ヲ大港中央ニ差込ヘシ

午後三時十分大港南方約ニ千米行進中九記大隊命令ヲ

下達ス

### 大隊命令

(一) 敵狀及有軍ノ狀況略ス

(二) 各隊ハ設管者ノ透導ニ依リ露管スヘシ

(三) 部隊日直將校 小此木少尉

(四) 聯隊命令第四項大港南方ノ敵意ハ第十中隊ヨリ出スヘシ

(五) 露官衛兵ハ第九中隊ヨリ差出スヘシ

(六) 警言急集合所ハ予ノ位置現地ニ於テ指示ス

大隊長 信澤少佐

午後四時大港ニ到着 露官命令ニ基キ露官ス

午後六時各中隊ヨリ本部傳令要員トシテ兵一名宛ヲ受領ス

中島伍長大港北方千米附近ヨリ右ハル道路偵察ヲタメ某

十二中隊ト連絡ス

午後八時左記要旨ノ步一五作命令第四百十三号聯隊命令ヲ受領ス

聯隊命令ノ要旨

(一) 敵情新報ナシ

(二) 旅團ハ明三十日張諸鎮ニ向ヒテ前進ス

砲兵大隊ハ川埠鎮附近ヨリ前進シ宜興ヲ經テ溧陽ニ

前進

(三) 聯隊ハ明三十日早朝宿營地出發張諸鎮ニ向ヒテ前進セ下ス

三 某三隊(九十、十六、六)前衛トナリ午六時五十分宿官地  
北端ヲ先頭トシ道路上ニ集合シタル後川埠鎮―玉山  
飛里村道ヲ張諸鎮ニ向ヒ前進スヘシ

四 爾余ハ本隊  
一 午後八時三十分左記前衛命令ヲ下達ス  
信作命第三十九号

前衛命令

十月二十九日午八時五分  
秋大港

前衛司令官 信澤少佐

(一) 敵状並ニ旅團ノ企圖止メ一五作命四三号ヲ知シ

(二) 大隊(九十、十二中隊)ハ前衛トナリ午六時五十分宿官地

北端ヲ先頭トシ道路上ニ集合シタル後川埠鎮―玉山

比里村道ヲ張諸鎮ニ向ヒ前進セントス

前衛ノ前進部處

11月 1/3 1/2 (200m) 1/10 1/15 某三 找閃鏡 (上)

前衛各隊ハ午六時三十分迄ニ旅團司令部前廣場

ニ集合スヘシ

(三) 関口少尉八部下半小隊ヲ以テ十月三十日午前六時宿營地  
出發大隊進路偵察ニ任スヘシ

(四) 爾余、諸隊ハ歩二五作命四十五号ニ依リ行動スヘシ  
(五) 余ハ午前六時十分前衛集合所ニ在リ

下達法

分隊長ハ集、豫、要旨ヲ口達シタル後命令受領者ヲ集  
メ口達筆記セシム

一此、夜附之ハ旅團副官、直接命令ニシテ陣地ヲ構築シ南  
方ニ對シ終夜警備ニ任シタリ

本日現員 將校五 下士官兵 三一計三六名

十月三十日

火曜日

晴

大港ヲ出発

祝陵到着

一作命第四十三号聯隊命令ニ基キ午前七時大港、東北方  
約千五百米橋深ヲ先頭トシテ本隊ノ前方セ。米ニ集合ス

午前七時十分前衛開始  
一、午前七時十分前衛開始、大兵長 松橋少尉  
一、午前七時十分前衛開始、大兵長 松橋少尉  
官山塙附近敵影ヲ見ス

之川埠鎮ニ官山塙ニ至ル途中小橋深中央部若手焼



位置祝陵

失せ少修理諸兵通過見込

一此、日路中ハ相當ナルモ山地道ニ礫石ノ補道ヲ兵ノ疲勞甚クシ

一玉山附近ヨリ松橋尖兵小隊ヲ逐次先行セシメ能里村附近ノ

敵情並ニ宿營ノ偵察開口ノ候トノ連絡ニ任セシム

一午後四時五分開口將校ノ候ニ第一報ヲ受テ

1. 祝陵ニ於ケル橋梁ハ完全ニ破壊アリ徒歩兵ト雖通過

困難而レトモ迂迴路アリ

2. 祝陵ニ八目ト土屋隊(江兵隊)一四衛生兵及一五〇聯隊

一部休止シアリ土屋隊同地ニ宿營スル等

3. 里村ハ宿營家屋ニシキカク警備自祝陵ヲ可トス

本日開口ノ候、動作ハ適時適切ナル報告ヲモリテ動作

良好ナリ

一同時松橋尖兵長ヨリモ右ト同様ノ報告ヲ受テ

一午後五時十五分露營ニ関スル旅團命令ヲ受領ス

一午後五時四十分同聯隊命令ヲ受領ス

一大隊ハ右聯隊命令ニ基キ露路ヲ行ス



第十一中隊、前哨中隊トナリ祝陵西南端ニ位置シ張清鎮方  
向ニ對シ警戒ニ任ス第九中隊ニ一分隊ヲ舊營地東北端入口附近  
近ニ出シ主トシテ後方ニ對シ警戒ニ任セシム

9. 荒木准尉、後藤准尉巡察將校トシテ勤務ス

午後十時左記要旨、二五作命第四對車号聯隊命令ヲ受  
領ス

(一) 敵狀新報ヲ得ス

旅團ハ明日張清鎮一截埠ヲ經テ漂佛南方高地ニ前進ス  
聯隊、右同

(二) 第三大隊(三ヶ中隊欠)ハ前任務續行中前七時三十分迄ニ

祝陵一帯張清鎮道上輕便鐵道踏切南方五〇〇米ノ地  
莫ヨ先頭トシテ行軍縱隊ニ集合シ旅團、進路ヲ前進ス  
(三) 爾余、諸隊ハ本隊

以下緒ス

本日現員將校五、下士官兵三一計、三六名



十五日

水曜日

晴

秋後ヲ去

發シ漂陽

南方四料

ニ至ル

位置漂

陽南方

四料其左

部落

一步一五作命第四五号ニ基キ予定ノ如ク午前七時三十分發

漂陽ニ向ヒ前進ス 尖兵長 杉松橋 少尉

一張清鎮以北山地ノ小徑ニシテ道路悪シ

一午後五時第五十聯隊ト連絡ノ任ヲ以テ浅川小隊先行ス

一午後六時十五分漂陽南方約四千米無名部落ニ到着ス

同時左記前衛命令ヲ下達ス

前衛命令

十五日午後三時 漂陽南方約四千米無名部落

本日午後三時漂陽ヨリ西方ニ向ヒ敵兵約三百名退却セリ

漂陽ノ敵狀ハ詳カラス

百五十聯隊ト連絡ハ目下トリツ、アリ

旅團ハ現在地ニ於テ大休止ヲナス

三前衛ハ現在地ニ位置ス其情況ヲ偵察セントス

尖兵ハ本道上クリトリノ線ニ位置シ漂陽方向ヲ警戒スヘシ

特ニ前方并候ト連絡ニ注意スルヲ要ス

第十一中隊ヨリ一ヶ分隊ヲ出シ特ニ西北方ニ對シ警戒スヘシ

三給養ハ携行口程甲ニシテナルヘリ速ニ明日一晝食迄ヲ用意スヘシ

四、警急集合所ハ部落中央空地トス  
五、余ハ部落東南端ニアリ

前衛司令官 信澤少佐

一、午後六時三十分大体止ニ関スル歩一三八旅作命第肆五号  
旅團命令ヲ受領ス

午前九時三十分同第四十六号露管ニ関スル旅團命令ヲ  
受領ス

一、午後十一時浅川乍候傳令致遺旅團長ニ對スル九記要旨ノ  
報告ノ通報ヲ受リ

一、先遣隊(150)ハ本日午後三時漂陽ニ入城

二、漂陽ハ高残敵アリ注意ヲ要ス

三、宿管カマリ山本部隊ハ漂陽南半部ニ宿管シアリ

本日現員將校五 下士官兵三一計 三六名



十月二日  
木曜日  
一、午前七時大隊副官漂陽ニ於ケル設管ノ爲先行ス  
一、部隊ハ旅團作命四十五号ニ基キ午前七時三十分集合シ

晴

漂陽南

方四軒地

莫出發

漂陽ヲ經

于南渡鎮

ニ至ル

南渡鎮

戰斗

タル後漂陽ニ向ヒ九時過漂陽ニ到着ス

一 九時十分大要ヲ事項ニ就キ聯隊長ノ訓示ヲ受ケ

ル連日ノ努力カ多トスルモ尚顧ミテ自戒ヲ要スルモノ多シ

ニ皇軍出兵ノ目的ト皇道精神ニ関レテ

多ク物資ノ節約及徵發ヲシテ掠奪的行爲ヲ行ハサルヲ要ス

ル火災豫防ニ対スル注意(ナホレオンモスコ攻略ノ失敗ノ例)

一 午前十時十分左記要旨ノ歩二五五匹作命第四八号聯隊

命令ヲ受領ス

十一月二日午前十時  
於漂陽

聯隊命令要旨

一 約一万ノ敵ハ主トシテ南京方向ニ又昨日約四百ノ敵ハ官

路村附近河面方集結却セルモノ如シ

二 旅團六二部ヲ以テ敵ヲ追撃シ主力ハ漂陽ニ集結シ適

後ノ前進ヲ準備ス

三 聯隊ハ本二日午前十一時現在地出發漂陽ノ官路橋ノ

一 湖賣橋ノ南渡鎮道ヲ南渡鎮ニ向ヒ追撃セントス

三 第三大隊(第九第十及工兵中隊ヲ屬ス)ハ前衛トナリ

本隊、前方五〇〇米アリテ聯隊、進路ヲ南渡鎮ニ向ヒ前進スヘシ

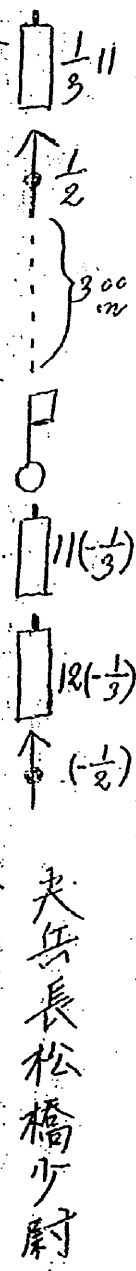
(四) 第二中隊 (149名ヲ附ス) 右側衛

午前十一時現在地出發 蔣店—包家庄—南渡鎮道ヲ南渡鎮ニ向ヒ前進

(五) 爾余ハ本隊左ノ順序ニ本隊、後方五〇〇米ヲ續行以下略ス

聯隊長 矢ヶ崎 中佐

一 右命令ニ基キ前衛ハ直ニ左ノ區處ヲ以テ前進ヲ開始ス



一 出發ト同時行進路上及南渡鎮附近敵偵察ノ爲遠間少尉以下十二名ヲ派遣ス

一 連日強行軍ノ疲勞ヲ克伏シテ西進シ豫想セル小金山ヲ敵

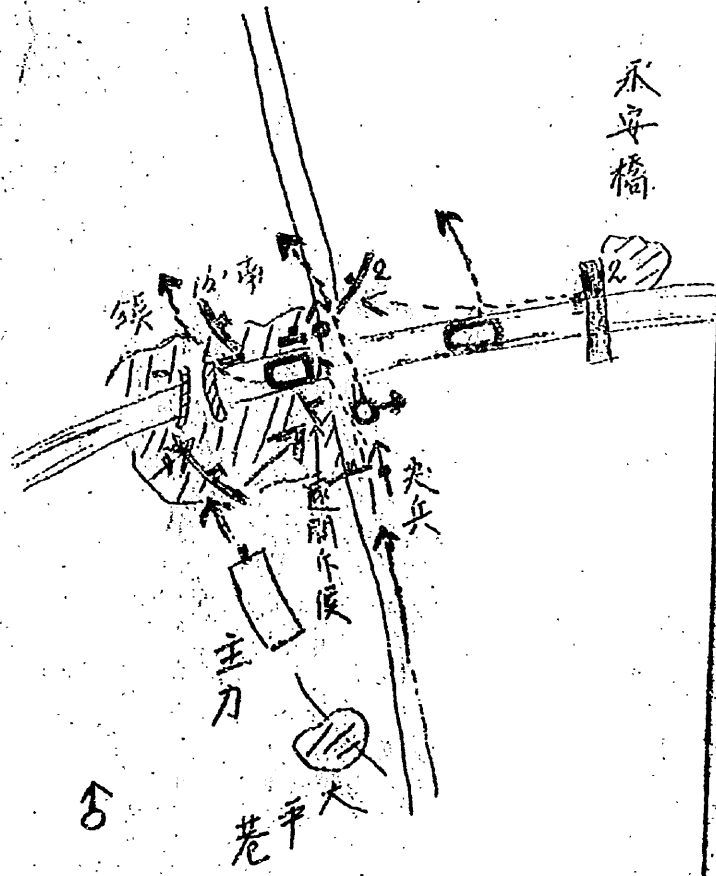
兵ヲ見ス之ヲ通過ス

一 小金山東方蔣家行附近ヨリ部隊ニ先行シ(中島伍長 新井上等兵ヲ伴フ)本道上ノ橋梁破壊セラレアルヲ以テ西方ニ迂

廻シ大平巷ニ達スル東北方永安橋附近ニ於テ熾烈ナル  
小艇機関銃ノ銃声ヲ聞ク直チニ本道上ニ進出シテ状  
況ヲ見ルニ本道橋梁附近ニ所一及若干ノ敵アリ數發ノ  
狙撃ヲ受リ永安橋方向ノ銃声盛ニナレトモ状況不明ナリ  
南渡鎮南端附近ニハ敵ヲ見ス遠間乍候ハ西南方ヨリ  
部落ニ進入中ナリ此ノ状況ヲ直チニ四時十分大隊長ニ報  
告シ折柄追及セル尖兵及附小隊(田口少隊)ヲ指揮シ橋  
梁ニ向ヒ攻撃ヲ前進シ後方前衛主力ハ部落西南側ニ方  
向ヨリ急進ス  
敵ハ輕ク抵抗シタルモ北方及船ニヨリ西方ニ退却セリ  
同時右側衛又船ニヨリ逃走セントセル敵ヲ東方ヨリ攻撃  
シ橋梁ニ進出ス  
敵ノ兵力約六十  
状況左ノ如シ

0944

一、午後四時三十分前衛八南渡鎮北端ヲ占領シ警戒搜索ハ  
 處置ヲ講スルト共ニ附近ヲ掃蕩ス  
 一、前衛ニ續イテ聯隊主力到着シ状況ヲ報告スルト共ニ九記  
 要旨ノ要旨命令以テ午後五時一五作命令第五十号  
 聯隊命令ヲ受領ス



敵ヲ示ス

0945

要旨九、如シ

一、當面、敵ハ漂流水方向ニ退却中ナルカ、如キモ高一部ハ本道

ニ添、地區ニ於テ抵抗シ、アリ

二、聯隊ハ主力ヲ以テ南灘鎮一部ヲ以テ中橋附近ノ交通線

ヲ確保シ、師團ノ進出ヲ掩護セントス

三、右側衛前任務續行中、橋附近ノ水路及橋梁確保

四、各隊ハ前衛ノ掃蕩完了後、露営ニ入ル

五、警戒戒並ニ勤務

露営日直將校 内山中尉

左、如ク各一分隊ヲ差出ス

東端 第十中隊

北端 第十中隊

南端 第九中隊

以下略ス

聯隊長注意

各隊自衛ヲ嚴ニスルコト



又、火災隊防

3. 町ノ通り右敷先ヲ以テ轉倒兵器、毀損ノ様注意  
4. 敗殘兵下痢患者多シ衛生ニ留意  
5. 酒ヲ過シ散言備上遺憾ナキヲ要ス

午後六時三十分九記命令ヲ下達ス

前衛命令

十一月二日午後六時三十分  
於南渡鎮北端

一 敵狀聯隊ノ企圖及右側衛ノ狀況聯隊命令ノ如シ

二 前衛ハ南渡鎮北端ニ露管管セントス

各隊ハ先ニ指示セルニ通り露管管ス

三 露管管日直將校淺川少尉

四 警戒ハ聯隊命令ニ見ヘシ其ノ細部ニ於テハ現地ニ就  
キ副官ラレテ指示セルム

五 警言急集合所大隊本部前廣場トス

六 予ハ大隊本部ニアリ

前衛司令官 信澤 少佐

一 右命令ニ基キ大隊ハ至嚴ナル警戒ニ露管管ス

十月三日  
 全曜日  
 晴  
 南渡銀  
 ヲ出發シ  
 上興埠ヲ  
 經テ白馬  
 塘ニ至ル  
 水戸位置  
 白馬塘

一、夜聯隊依リ船ノ微發ヲ命セラル

一、本日漂陽ニ於テ角田上等兵(男)入院

本日現負將校五名下等官兵三〇計三五名



一、午前六時歩一五五作命第五十一号聯隊命令ヲ受領ス

聯隊ハ先遣隊トナリ速ニ漂水ニ進出シ敵後方陣地ノ敵情

偵察ス

山本少佐ハ右側衛ヲ指揮シ速ニ張家山ノ稔面ノ高地線ニ

前進シ聯隊ノ進出ヲ掩護ス

一、大隊ハ(9.10.12.欠)前衛トナリ聯隊ノ進路ヲ先張家山ニ

向ヒ午前八時露管地出發本隊ノ前方四〇〇米ヲ前進ス

尖兵長 浅川少尉

一、行進中各中隊ヨリ兵五名ヲ華村ニ残置シ馬場少尉ノ

指揮ニ依リ彈藥ノ補給ヲナスヘキ命ヲ受ケ處置セシモ實

施ニ至ラスレテ止ム

一、途中敗殘兵ノ掃蕩ト上興埠ヨリ漂水ニ至ル分岐上莫不明ノ

爲陶村一阮前正一經于白馬塘之高と前進ス

一午後五時稍々過キ白馬塘に進出 露營ニ決ス

同時小比木少尉以下五名聯隊長ノ命ニヨリ山本少佐ノ指  
揮スル先遣中隊ト連絡ノ爲出發ス

一午後六時二五作命第五ニ号露營ニ関スル先遣隊命令  
ヲ受領ス

一同時左記命令ヲ下達ス

露營命令

十一月三日午後六時  
於白馬塘

一前面敗殘兵ハ逐次漂流水方面ニ退却セリ

先遣中隊ハ西方四料附近ニアルモ、如シ

二聯隊ハ現在地附近ニ兵力ヲ集結シ明早朝、追撃ヲ行

準備セントス

三各隊ハ先ニ指示セル区域ニ依リ露營スヘシ

四據營戒ハ第十中隊ハ主トシテ西方ヲ其他ハ各隊毎ニ

警備スヘシ

五 露營日直將校

工藤中尉

巡察

後藤准尉

六、露營衛兵、軍橫衛兵、ヲ以テ兼スルヘシ

七、警急集合所ハ、部落中央空地トス

八、余ハ部落地端ニアリ

露營司令官

信澤少佐

注意

各隊ハ、敗殘兵、夜襲ニ對シ、殺テ準備シテレヘシ

一、午後七時、小比木少尉先遣中隊ト連絡ヲトシ、飯還ス

一、午後十二時四十五分、歩一二五作命第五三三號先遣隊命令ヲ

受領ス、要旨左ノ如シ

一、漂水東方及同南方地区敵陣地アルモノ、如ク高附近

ハ、諸方面ヨリ、敗殘兵ニヨリ混乱シタリ

張家山附近ニハ、陣地ナキモ、敗殘兵多ク散在シテモ

ノ如シ

師團司令部、徐舍鎮、旅團上興陣ニ位置シタリ

二、聯隊ハ、明日午前七時三十分出發、白鳥塘ト張家山

十月

十日

土曜日

晴

漂水、戦

位置、漂

一 周村、漂水道ヲ漂水ニ向ヒテ前進ス

三 先遣中隊ハ午衡六時三十分楊塘村西方橋梁出發

聯隊ノ進路ヲ漂水ニ向ヒテ前進ス

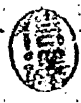
兵中隊ヲ其ノ指揮下ニ入ル

四 第三大隊(1011欠)ハ前衛トナリ午前七時三十分露

營地出發聯隊ノ進路ヲ漂水ニ向ヒテ前進スヘシ

以下略ス

本日現員 將校五 下士官兵三〇計三五名



一 午前五時飯塚少尉(以下三名)ハ聯隊長ノ命ニシテ漂水附

近敵狀偵察ノ爲メ午候トナリ露營地ヲ出發ス

一 午前六時三十分左記命令ヲ下達ス

前衛命令

十月十日午前六時三十分  
於白馬塘大隊本部

一 大隊(1011欠)ハ前衛トナリ午前七時三十分露營地出

發本隊ノ前方四〇〇米ヲ張家山一圍村一漂水道

ヲ漂水ニ向ヒテ前進ス

二前進部署左ノ如シ

如左  
如左  
如左

(尖兵長平石少尉)

各隊ハ午前七時三十分迄ニ西方稜線ヲ尖兵ノ先頭ト

シ集合スヘシ

三余ハ本隊ノ先頭ニアリテ前進ス

前衛司令官 信澤少佐

下達法

命令受領者ニ口達筆記セシム

一前衛以前記命令ニ基キ予定ノ如ク行動ヲ開始シ

一爾後、後動及漂水附近戦闘状況別冊歩ニ五五戰詳

第三号漂水附近ニ於ケル戦闘詳報ノ如シ

一午後三時三十分頃概不城ノ掃蕩並ニ警備ノ處置ヲ

終リ露営スルニ決ス

一午後四時半頃旅團司令部漂水ニ到着シ露営ノ關係上

聯隊ハ城壁外ニ露営地ヲ移轉ス

一午後五時五分左記要旨、露營ニ關スル聯隊命令ヲ受ケ之  
ニ基キ露營ス

歩二五作命第五五号

聯隊命令

十二月四日午後五時五分  
於漂水北門外

一漂水附近、敵ハ總計五百位ニシテ、其一、一部ハ無統制、  
交戦ヲ續ケ、ソアリ

東方及西南方本道ヨリハ我ヲ進出ヲ知ラサル部隊漂水  
ニ集合シ、アルヘキコトヲ顧慮シ、警戒スヘシ

城内ノ掃蕩ハ完了セリ

飛行機通報ニヨリハ、供蘭埠附近ニハ約三百、敵混乱  
集合シアリ

旅團ハ漂水ニ集合宿營ノ予定ナリ

二聯隊ハ本夜城壁内外ヲ警戒シ、主力ヲ城北地区ニ  
集合シ、南京ニ通スル道路及水路ヲ確保シ、爾後ノ前

進ヲ準備セントス

三山本先遣中隊ノ編成ヲ解ク

四各隊警備部署

第三中隊黑石頭位置之南京街道西側水路及

飛行場

第十二中隊

一小隊 東門

第九中隊

一小隊 西門

第十中隊

一小隊 西南門

第十中隊

一小隊 東南門

五諸隊八設營者、區處ニテ露營

以下略ス

一内山中尉

露營日直

松橋少尉

部隊日直トテ勤務ス

一午後五時左記聯隊會報ヲ受領ス

聯隊會報

一明日八午後九時以後何時ニテモ出發シ得ル態勢ニテレポート

二宿營地變更ニ伴ヒ城壁警備部隊ハ此ト交代ス

交代部隊到着セバ交代スレポート

三午後八時ヨリ聯隊本部ニテ彈藥ヲ補給ス



一午後九時第十中隊大隊ニ復飯ス

一午後十時左記要旨ノ聯隊命令ヲ受領ス

聯隊命令ノ要旨

一漂水北部ニ於ケル南京要塞本防禦線ハ當正面ニ

於テハ方山ノ線ニアルモノ、如シ

師團依然南京ニ向ヒ追撃ス

旅團ハ漂水北方高地線ニ進出シ前面ノ敵狀地形ヲ

偵察ス進出ノ時期ハ明五日正午ト予定ス

二聯隊ハ明五日前十時迄ニ漂水—湖熟鎮—南京

道ノ狀態及同方面ノ敵狀ヲ偵察セントス

三第三大隊ヲ將校下候(兵力一ト小隊)ヲ予下ニ出スヘシ

四各隊ハ明正午以後隨時出發シ得ル如ク準備シテヘシ

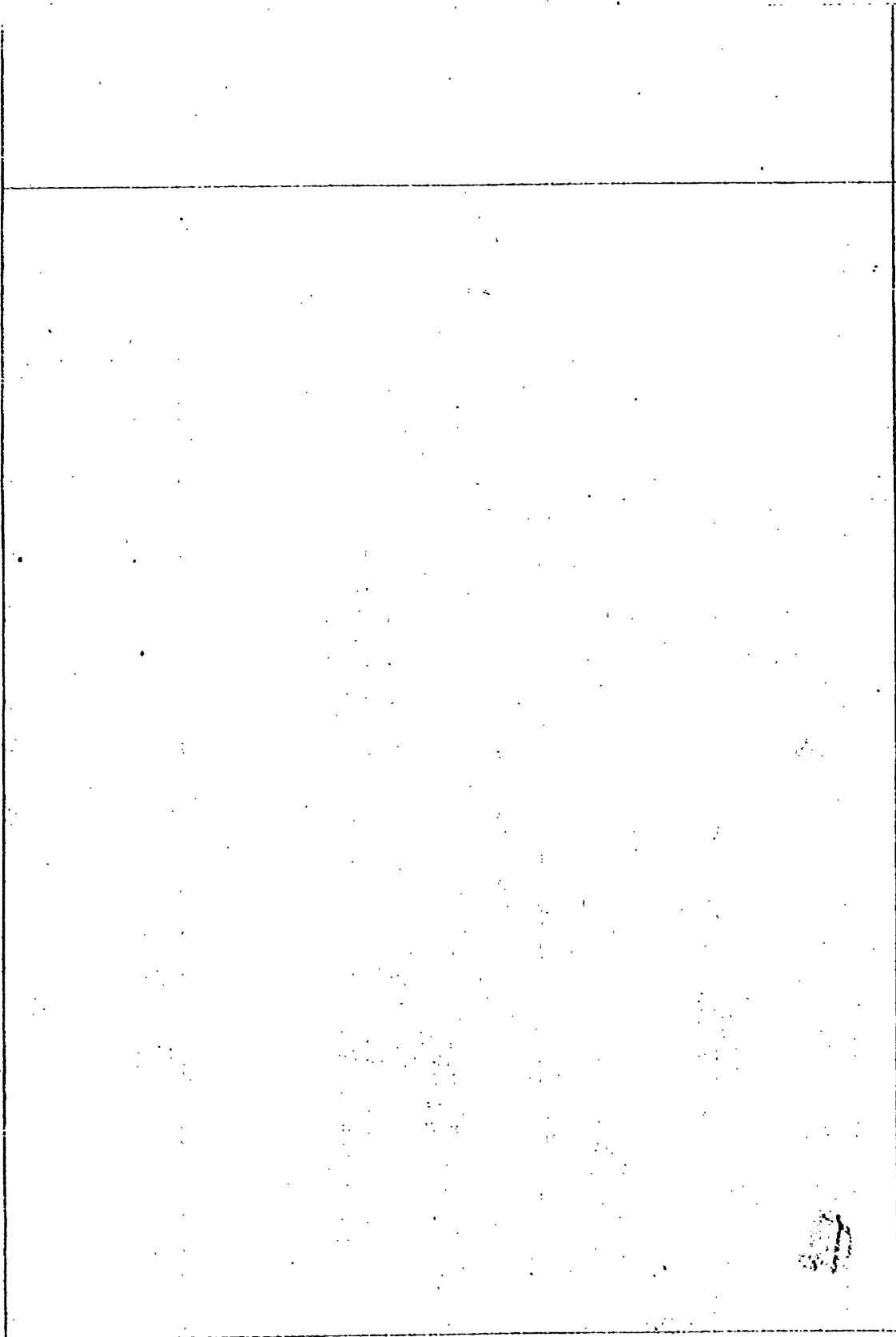
以下略ス

一廣瀨任長ハ午後十時聯隊本部ニ於テ彈藥ノ補給ヲ受リ

午後十一時各隊ハ分配ヲ終了ス

本日現員將校五下士官共三〇計三五名





0956

**国立公文書館 アジア歴史資料センター**

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

人(馬)現況表 十二月五日現在 第三大隊

總計	機關銃	第十一中隊	第十二中隊	第十三中隊	第十四中隊	本部	隊別/區分
975 ↓ <sup>57</sup> (88)	84 (15)	194	194	194	194	115 ↓ <sup>57</sup> (73)	總員
405 ↓ <sup>57</sup> (88)	43 (15)	102	44	51	75	90 ↓ <sup>57</sup> (73)	事故
570 ↓ <sup>107</sup>	41	92	150	143	119	25 ↓ <sup>107</sup>	現在
							摘要
							一、履一ヲ合ハ ニ、ハ本部要員ト シテ中隊ヨリ輸入 ルモノトス
							事故
							譯

戰傷三衛生隊ハ引渡シ大行李及之ト行動ヲ共ニシル者  
及毛布監視五一小行李三五金櫃衛兵四聯隊本部  
六輸出一計九五(馬匹病馬收容班ハ大小行李追  
及中七二)

戰傷三野戰病院及衛生隊ニ引渡シタル者一。荷物及沸水  
車運搬一三小行李護衛西山少尉以下四三落伍者(十一  
月三二日大港小埠間)計七五。  
D B R P の傳令トシテ輸出六。  
戰死ニ戰傷四入院一。毛布監視一掃水車及中隊行李  
運搬ノタメニ行動ヲ共ニシタルモノ一八旅團將校護衛兵  
五 B R P の傳令トシテ落伍四。

戰傷三野戰病院衛生隊ニ引渡シタル者一三。大行李沸水車  
下行動ヲ共ニシタル者一四。D B R P の傳令トシテ輸出ス六。  
所在不明九(十月十九日二十日二十一日三十日)計四四。  
入院及衛生隊ニ引渡シタル者五。D B R P の傳令トシテ輸出  
六。大行李毛布監視沸水車運搬一。九聯隊行李監視天川少  
尉以下四五旅團大行李監視一。三。隊彈藥運搬追及中者五落  
伍者及之。收容一。(大港一祝後同)計一〇。

戰傷一野戰病院及衛生隊ニ引渡シタル者四。毛布監視三。  
馬監視及彈藥小隊トシテ追及中三五。計四三。  
(馬匹彈藥小隊及小行李ト共ニ追及中一五)

十月五日

晴

晴

一 関口小隊八前夜 150人ヨリノ交代部隊來ラス終夜西門ノ警備

ニ任ス

一 午前十時松橋少尉八部下小隊ヲ以テ聯隊長ノ命ヨリ天正寺方面ニ至ル道路偵察ノタメ出奔ス

一 午前十時三十分頃聯隊長ヲ終テ左記要旨ノ旅團命令ヲ受領シ出奔ヲ準備ス

歩一八旅作命 第五三号 十月五日午前十時四十分

歩兵第一三八旅團命令ノ要旨

一 敵情及師旅團ノ企圖略ス

二 旅團八本五音廣ク溧水北方地ニ領有シ師團ノ方山攻撃ヲ準備セントス

三 歩一八第三大隊(三中队)八年後一時現在地出奔溧水一湖

熟鎮一南京道上周家庄(溧水北方約八軒)ニ前進三部隊ヲ以テ總家庄附近ヲ確保セシメ當面ノ敵情地形ヲ偵察特ニ湖熟鎮以南ノ南京道ノ状態ヲ報告スヘシ

四歩 150m 一隊主力鳥山鎮一部ヲ以テ陳家村及桃崗村北側橋梁確保

五 只前住勢續行

六 爾余諸隊八午後二時出奔貴庄村ニ向テ前進スヘシ以下略ス

一 大隊(第九第十中隊欠)八愛々時五十分出奔準備ヲ終了シ左

記大隊命令ヲ下達シ行動ヲ開始ス

### 大隊命令

一 敵狀及友軍ノ狀況略ス

二 大隊ハ周家村ニ向テ前進セントス

第三中隊(一小隊ヲ欠キ<sup>100</sup>ヲ附ス)尖兵トナリ大隊ノ前道路ヲ

前進總家庄附近ヲ確保シ湖熟鎮以南ノ道路ヲ偵察

スヘシ

爾余ハ尖兵ノ後方三〇〇米ヲ以テ<sup>10</sup>順序ヲ以テ前進

スヘシ

三 余ハ本部ノ先頭ニ在リテ前進ス

大隊長 信澤少佐

一本日尖兵長遠間少尉

一兵要地誌圖軍用道路ハ發見スルニ至ラス十才分ハ片臭線路ハ原野ヲ通スル小径ニシテ道路ノ偵察ニ苦心シツ、之午後四時三十分周家庄ニ到着ス

一尖兵ヲ予定ノ如ク魏家庄ニ向ヒ前進セシメ前衛主力ハ周家庄ニ露營ニ決シ左記信作命第三上野露營命令ヲ下達ス

露營命令 土音音々後四時三十分於周家庄

一敵狀ニ就テハ新報ヲ得ス

二大隊ハ現在地ニ露營ニ前任務ヲ續行セントス

三第十中隊(三小隊)ハ魏家庄附近ヲ占領シ敵

狀地形ヲ偵察スヘシ

特ニ湖熟鎮以南ノ道路ヲ偵察シ其第一回報告ヲ午

後八時迄ニ提出スヘシ

第十中隊ハ分隊ヲ本道上ニ布シ北方ニ對シ警戒スヘシ

特ニ前方ノ連絡ニ注意スヘシ

0960

第十三中隊ノ一小隊ハ西方ニ対シ警戒スヘシ

四糧秣ハ従前通リトス

五部隊目直 賀川小尉露営目直及巡察ヲ兼メヘシ

六余八部 落中央大本部ニ在リ

前衛司令官 信澤 少佐

下違法

命令受領者ニ口達筆記セシム

第十三中隊主力ニハ要旨ヲ口達シ後筆記セルモノヲ交附ス

注意

一 住民ハ一ヶ所ニ集合セシメ又各隊ハ徴發員數ヲ筆

記主計ノ下ニ提出ス

一 午後六時半第十三中隊ヨリ第一回道路偵察ニ関スル報告ヲ

受領ス

一 午後七時第十三中隊木暮上等兵以下五名ヲ聯隊及旅團司令部

トノ連絡ノ爲出奔セシム

報告事項ノ概要ヲ如シ

三月六日

1. 敵ニ関シ新報ヲ得ス。当方面敵兵ノ通過シタル形跡ヲ認メス

2. 前衛ハ午後四時五分周家庄ニ到着シ第十二中隊(三小欠)ヲ附ス。魏家庄ニ位置セシメ主力ハ周家庄ニ露営シ前任務ヲ遂行シツツアリ

3. 道路ハ軍用道路ヲ発見スルニ至ラス小ナル山道ニシテ車輛ノ通過困難ナリ

尖兵ノ報告ニ依テ周家庄―魏家庄間ニ同様ナリ魏家庄以北湖熟鎮ニ至ル間目下偵察セシメツツアルニ土民ノ言ニ依テ依然小徑ニシテ車輛ノ通過ヲ許ササルモノ、但シ

4. 附近ハ寒村ニシテ宿営力ニ乏シク且住民ハ殆ント避難シテアラス

一本日ノ現員將校五下士官兵三〇計三五名

一午前四時小蒙着上等兵以下五名旅團ト連絡上取遣ス



0962



月曜日  
晴

同時命令受領者深津軍曹飯塚上等兵、粟内之來り左記ノ命令ヲ受領ス

一 荒野ノ小徑而天暗黒ノ夜道ヲ往復シ能ク其ノ任務ヲ全ラセル前記連絡者ハ責任感念旺盛ニシテ勞苦ハ誠ニ大ナルモアリ

歩三八旅団命令第五四號 十月廿五午後八時四五分

歩三八旅団命令 於孔家村南部

(二) 歩二五作命第五八号 十月廿五午後十時於貴庄村

聯隊命令

聯隊命令ノ要旨左ノ如シ

一 敵狀新報ナシ

旅團ハ方山攻撃ノ目的ヲ以テ明六日地歩ヲ北方ニ推進

シ引續キ敵狀地形ヲ偵察ス

旅團主力ハ午前八時孔家名奔孔家一湖熟鎮道ヲ魏

家庄向ヒ前進ス

二 聯隊(第三大隊)指揮下ニ復セラレ明六日早朝現在地

出奔湖熟鎮ニ向ヒ前進シ方山若ハ其ノ以東ノ地区ニ攻

撃重矣ヲ指向スル場合ヲ顧慮シ前面ノ敵情地形ヲ偵察セシトス

三第三大隊(911欠)ハ先遣隊トナリ明六日午前七時露路宮地出奔周家庄―魏家庄―郭莊廟―湖熟鎮ニ向ヒ前進シ方山及高化鎮方向ノ敵狀及地形ヲ偵察スヘシ  
一小部隊ヲ以テ郭莊廟東側附近ヲ占領赤山方向ニ對シ聯隊ノ右側ヲ警戒セシムヘシ

四爾余ノ諸隊ハ明六日午前七時現在地出奔前記道路ヲ湖熟鎮ニ向ヒ前進スヘシ

以下略ス

一午前五時三十分 各隊ハ午前六時五十分大隊本部前ニ集合ヲ命ス

一午前七時左記先遣隊命令ヲ下達ス  
信作命三三號

大隊命令

十有九午前七時於周家庄

一敵狀概聯隊ノ企圖並ニ任務ヲ略ス

0964

二大隊(欠除部隊故、如シ)ハ聯隊ノ先遣隊トナリ周家  
庄ト郭莊廟ト湖熟鎮道ヲ湖熟鎮ニ向ヒ前進セ  
ントス

三平右少尉ハ尖兵トナリ大隊ノ進路ヲ湖熟鎮ニ向ヒ前進スヘシ  
本隊トノ距離三百米

四第十三中隊(三小隊欠加ヲ附ス)ハ周家庄ト魏家庄ト湖  
熟鎮道ヲ湖熟鎮ニ向ヒ前進スヘシ

五爾余ハ<sup>18時</sup>10分<sup>10分</sup>主カノ順序ニ前進スヘシ  
NO及第十中隊長ハ本部ト共ニ前進スヘシ

六余ハ本隊ノ先頭ニテリテ前進ス

大隊長 信澤 少佐

### 下達法

各隊長ヲ集メ要旨ヲ口達シタル後命令受領者ヲ集  
メ口達筆記セシム

注意第十中隊後備小隊長ハ聯隊主任誘導ノタメ必要ナル  
道標ヲ標示スヘシ

一 予定、如ク午前七時出發シ午前八時北方三軒永寧庵ニ到着  
ス第十三中隊（三小隊）ハ昨夜魏家庄ニ進出シアラカリシコトヲ知ル  
情報蒐集ノ結果進路ヲ一部變更スルニ決シ左記命令ヲ下達

大隊命令

十月六日午前八時  
於 永寧庵

一 大隊ハ一部決心ヲ變更シ周家庄―魏家庄ヲ經テ湖熟  
鎮ニ前進セントス

二 行軍序列ハ昨日ノ序列ニ從ヒMGハ本六日信作命

第三十三号ニヨルハシ

大隊長 信澤少佐

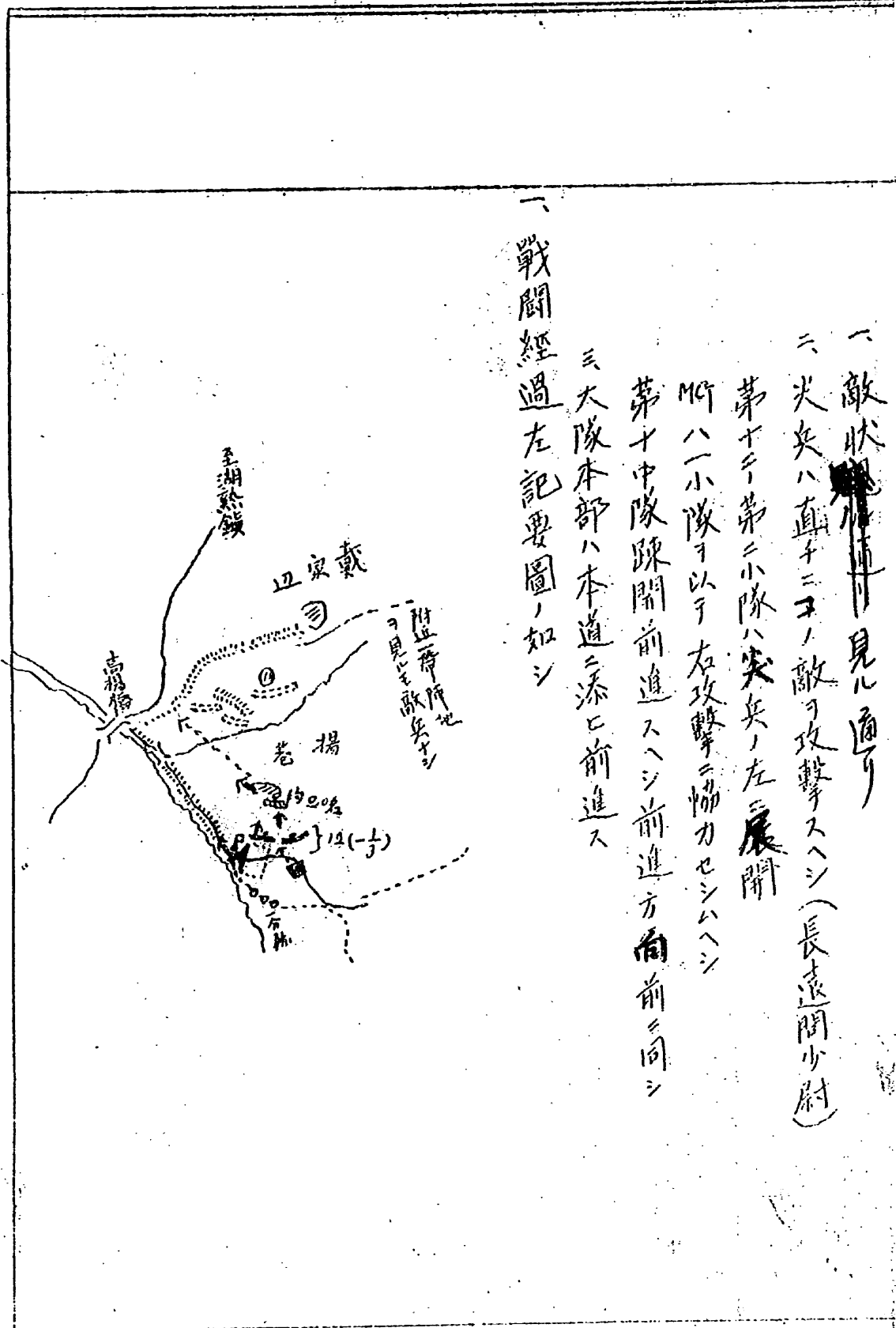
一 郭莊廟南方地区ニ進出ノ間道路曠野ノ小徑ニシテ進路ノ判定  
極メテ困難ナリ

一 午前七時五十分湖熟鎮南方五軒楊巷南方ニ達スルマ部落南端  
ニ約三千名ノ敵マリ我カ迎接ヲ待ツテ射撃ヲ開始ス

即 直ニ左記命令ノ如ク部署シテ撃退シ零時三十分高  
揚橋ニ進出ス

大隊命令

0966



一 戦闘經過左記要圖ノ如シ

- 一 敵狀 ~~見ル~~ 見ル通り
- 二 尖兵ハ直チニエノ敵ヲ攻撃スヘシ (長上遠間少尉)
- 第十小隊ハ尖兵ノ左ニ展開
- 第十一小隊ヲ以テ右攻撃ニ協力セシムヘシ
- 第十中隊疎開前進スヘシ 前進方面前同シ
- 三 大隊本部ハ本道ニ添ヒ前進ス

0967

彼我損害 我十シ

敵遺棄死体 三

鹵獲品 小銃 三 小銃彈藥五〇發 拳銃彈藥二〇發

一 狀況ヲ朕隊ニ報告シ高楊橋ニ於テ昼食ス

午後一時三十分朕隊長同副官來ル

同時左記旅團長ノ意圖ヲ傳達セラル

左記

一 旅團八本六日引續キ南京東南角ニ向ヒ急進スルニ企

圖ヲ有ス

二 貴隊ハ先ツ高廟ニ向ヒ前進シ旅團ノ予定目標ニ向ヒ

更ニ前進スルヲ要ス

三 旅團主力ハ本夕高化鎮(道路集合處貴隊ノ後方三軒)

ニ於テ一時休憩シ更ニ前進ノ予定

四 高廟附近ヨリ旅團主力(歩伍)ヨリ一部ヲ派遣シ貴隊ノ

左側ニ併進セシムル予定

附

(4) 情況許セハ大休止ヲ行ハサル予定  
四 貴隊ノ南京一番乗りヲ切望ス

一 午後四時過湖熟鎮ニ進出ス

旅團司令部及百五十聯隊ハ既ニ到着シ休憩ノ後前進ヲ  
準備シアリ 旅團長ト連絡 旅團ノ企圖ニ関シ指示セラル

一 南京附近五ヶ所ノ地圖ヲ受領ス(五種各ニ部)

一 歩五〇聯隊ニ續行シ該部隊ノ大休止ヲ待ツテ先行スルニ  
決シ 聯隊ハ午後五時頃湖熟鎮ヲ出發ス

一 百五十聯隊ハ高化鎮東南方高地線ノ敵陣地ニ遭遇シ  
之ヲ攻撃中ナリ 聯隊ハ咸田站(圖上李野上附近)附近ニ待機  
シ爾後ノ進出ヲ準備ス

一 午後二時 聯隊命令ニ依リ湖熟鎮附近ノ敵狀偵察ヲ命

セラレタル浅川小隊ハ一五〇聯隊ト共ニ前進レ之トノ連絡  
ヲ努メツツアリ

一 前方ノ敵陣地頑強ニシテ容易ニ突破セラレス 遂ニ夜ヲ徹  
スルニ至ル

0969

七月七日

火曜日

晴

杜家山

附近ノ

戦闘

位置

上皇野

北方無

名部落

本日現員將校五下士官兵三〇計三五名



一 午後一時三十分左記要旨、旅團命令ヲ受領ス

旅團命令ノ要旨

一 敵陣地ハ高化鎮南方高地線ニアリ

百五十聯隊ハ之ヲ攻撃中ナリ

二 旅團ハ一部ヲ以テ當面ノ敵ヲ攻撃シ主力ハ南方ニ迂迴

シ山西村ニ向ヒ進出セントス

一 大隊(第91欠)ハ依然聯隊ノ前衛トシテ前行軍序列

ニ從ヒ午前三時三十分成田站ヨリ先鋒右近ク銃聲ヲ聞ク

絶對ニ行動ノ秘匿ニ務メツツ前進ス

先鋒ニ當リ苦力牛馬等全部ハ後方ニ残置ス

一 此夜高村ニ向フ道路ノ偵察ニ任シタル関口小尉ハ暗黒且

錯雜セル道路ヲ偵察シテ良ク大隊ヲ誘導シ失兵長遠

間小尉又進路ノ敵狀ノ偵察ニ良ク奮闘ス

一 午前六時前衛ハ前西郷ニ進出失兵及賀川下候ヲ派遣シ



前面、敵狀搜索ニ努ム  
 一 爾後、行動ハ別冊歩二五四戰詳第三號其二杜家山、戦  
 斗詳報、如シ  
 一 本月、戦斗中本部傳令上等兵下田義造一等兵櫻井定助(附)  
 負傷ス

本日現員 將校五 下士官兵三八計三三名



十月八日  
 水曜日  
 晴

一 昨七日ニ引續キ杜家山、敵ヲ攻撃ス  
 狀況別冊歩二五四戰詳第三號其二杜家山、戦斗詳  
 報、如シ

杜家山  
 附近ノ  
 戦闘  
 一 本日十月十三日、街前鎮以來旅團金櫃並ニ車輛部隊、  
 掩護ニ任シアリシ天川小隊及材料監視ニ任シアリシ第十中  
 隊ニ分隊前西郷ニ到着大隊ノタメ炊焚ニ任シアリ  
 一 午後七時三分前西郷出發當面、敵ヲ大迂迴シテ秣陵園ニ向フ  
 本日現員 將校五 下士官兵三八 計 三三名





十二月九日

木曜日

晴

一連日、行軍ニ次テニ昼夜ニ渡ル奮戦後、夜行軍而モ多数ノ戦死者ヲ伴ヒテ難行ス。幸ニ三ツ月明ナリ

一午前四時五十分永安村到着休息シ炊爨其他爾後ノ行動ヲ準備スルト共ニ聯隊命令ニヨリ

各隊ハ荒木准尉ノ指示ヲ以テ杜家山附近ノ戦死者ヲ火葬ニ附セシム

二架橋隊員トシテ10ヨリ將校(飯塚少尉)11ヨリ下士一各隊ヨリ兵士名ヲ差出ス

一午前十時四十五分永安村出發シ午後三時三十分秣陵關到着ス上海ニ廻航シタル第二大隊到着ス一ヶ月振聯隊長指揮ニ入り聯隊ノ戦力ヲ倍加スルコトナレリ

同時大隊ノ小行李大行李近ク追及中ナルコトヲ知ル  
一午後三時五十分左記要旨ノ聯隊命令ヲ受領ス  
歩一二五作命第六号

聯隊命令ノ要旨

一第百二十七旅團ノ一部八周家村(南京南方約二里)師團司

0973

令部ハ司徒村ニアリ秣陵閣ニ軍、戦闘司令所ヲ開設セラル  
旅團ハ湾里ニ向ヒ急進ス

二聯隊ハ湾里ニ向ヒ急進セントス

三各隊ハ糧秣補給ヲ行ヒタル後即時出發準備、態勢ニア  
ルベシ

四前進順新ハ現在ノマトシ第ニ大隊ハ後方ニ續行スベシ

五第ニ中隊ハ現在地ニ位置シ軍參謀寺田中佐ノ指示受ルベシ

一午後四時秣陵閣ヲ出發シ湾里ニ向ヒ急進ス、夜ニ入り北進スルニ從

ヒ第一線交戦ノ様子ニトシカ如ク將兵ノ士氣益々旺盛ナリ

一秣陵閣北方ニテ小行李ト行動ヲ共ニシアリシ馬取扱兵横山石原

進及ス

一午後十時三十分永慶庵ニ到着、銃砲聲下ニ露營シ

明十日、攻撃手ヲ準備ス

一午後十時五十分歩一二五作命第六ニテ聯隊露營命令ヲ受領ス

聯隊命令ノ要旨

一敵ハ墓園村△標高四八ニ高地西地區稜線ヲ失々占領シ

0974

アルモノ、如シ

師團ハ當面ノ敵ヲ突破シ南京ニ向ヒ肉迫ス

秋山旅團ハ目下ニ前面ノ敵ヲ攻撃中、旅團ハ本夜永慶

庵ヲ東北地区ニ集結露營ス

歩一五ノ聯隊ハ東部ニ露營シ特ニ東北方ニ對シ警戒ス

二聯隊ハ本夜永慶庵ニ露營ス

各隊ハ別ニ示ス所ニヨリ露營スヘシ

三旅團ハ各大隊毎ニ行ッヘシ

五旅團ノ警戒ヲ担任シ特ニ北方本道ニ通スル道路ニ對

シ警戒

四聯本部警戒ヲ担任特ニ東方及後方ニ對シ警戒

兩大隊長ハ警戒ノ關シ露營地区内他部隊ヲ区

處スヘシ

四師團ノ二商、旅團五、露營地区内ニ余ハ四地区

内ニアリ

露營司令官 矢ヶ崎中佐

0975

注意

1. 本夜ノ露営ハ敬告ヲ嚴ニスルコト
2. 要スレバ壕ヲ構築セヨ
3. 敵トノ反對面ヲ利用シ敵驍ヲ受ケサル様注意ヲ要ス
4. 物次員ナキ為明日以後ノコトヲ顧慮シ貯ヘ置ケコト

小行李長坂庭伍長連絡ニ來リ小行李後方ニ進及本道附近ニ露営セルヲ知リ十一月十六日以降ノ行動ノ概要報告ヲ受ケ行動ノ狀況別冊小行李行動表ノ如シ

午後十一時 露営ニ關スル大隊命令ヲ下達ス

大隊命令

十一月九日午後十一時  
於永慶庵北端

- 一 大隊ハ聯隊司令部ヲ露営セントス
- 二 露営日直將校(部隊日直ヲ兼スベシ)野間中尉
- 三 警戒ハ第九中隊東方第十、第十二中隊後方ヲ担任スベシ

若、外各隊毎ニ嚴ニ敬告スベシ

0976

人馬現員表

昭和十五年十月十日現在 第三大隊

考備	現在員	事故	現在總員	減	増	定員	區隊	
							本部隊	隊
減員一元 三名 一、戰傷六九八、九、十、病入院四、勤勞者四、檢閱由取替者、毛布、監視九其他 二、大行李、小行李、持摺、火行行李、八名 三、由山中村、崇四、三小行李、護衛、三、箱、一、名 四、其他、大小行李、附強、五、小隊、馬、全、一行、動	三八	八三	一一一	三		二四	第三大隊本部	
	二五	七九	一九二	二		九四	第九中隊	
	一五三	三三	一八六	八		九四	第十中隊	
	一五〇	三六	一八八	八		九四	第十中隊	
	一三七	五七	一九四			九四	第十一中隊	
	七五	七	八三	二		八四	第三機銃隊	
	九九八	九九三	九九一	二		九七四	合計	
		六七	六七	六		七五	本部隊	馬
	一五	一五			一五	第三機銃隊	匹	
	八二	八二			八八	合計		

0977

四營急集合所露營地前方乾田トス

大隊長 信澤少佐

本日現員 將校五 下士官兵三〇計三五名



十月十日 一午前七時三十分永慶庵出奔永慶庵一頼石崗一藤田橋一

金曜日 南京道ヲ急行北進ス

晴 一午前十時藤田橋ニ於テ攻撃命令受領直ニ行動ヲ開始シ

南京攻略 正午周家樓子北側高地ヲ占領シ次ニ張家南方高地ヲ奪取

戦闘 戦斗夜ニ入り夜ヲ徹ス

位置 狀況別冊歩二五五戦詳第三號其二南京攻略戦斗詳報ノ如シ

張家南側高地 一本日ノ戦斗ニ於テ大隊本部死傷者左ノ如シ

戦死 午後四時 南京東南方後四軒周家樓子北端一等兵今泉六一  
令 令 特務兵 石原正雄

戦傷 午後四時 令 一等兵 今井七五三

令 午後四時 令 特務兵 福田右左衛門

令 午後四時 令 一等兵 石井圭馬 吉

令 午後四時 令 特務兵 戸塚邦一

(上隊所屬)





位置

南京城外  
東南角

一 令 旗手 上等兵 高木勝二 八共ニ重傷ヲ受ク

一 午前十一時五分大隊長 信澤少佐 八自ラ第一線ニ五千勇敢ニ部下ヲ指揮中胸部(左右)貫通銃創ヲ受ケ上陸以來奮斗力

戦 宿望ノ南京城壁ヲ目前ニシツ、壯烈ナル戦死ヲ遂ケ

一 大隊長戦死後大隊副官 大隊ノ戦斗ヲ指揮シ力戦カ攻

午後一時二十分 深津軍曹 中島伍長 新井上等兵 城外リ

一 一ヶヲ泳渡シ城壁ノ一角ヲ占領シテ日章旗ヲ翻シ大隊主

力ハ午後三時五分 遂ニ大隊旗ヲ先頭ニ城壁上及城内ニ突

入シ 遂次地歩ヲ擴張シ南京城外東南部ヲ完全ニ占領シ夜

ヲ徹スルニ至ル

一 午後七時頃 本部書記 伍長 廣瀬重雄 城壁上ニ奮戦中腹部

盲貫銃創ヲ受ク

一 午後七時四十分 中隊長 永井大尉 大隊長代理ヲ命セラレ爾後大

隊ヲ指揮ス

狀況別冊 南京攻略戦斗詳報ノ如シ

本日現員 將校四下士官兵ニ計 尚名



十月十三日

月曜日

晴

城外掃蕩

位置

南京

一敵ハ夜半ヨリ退却セルモノ、如ク銃声静マル

夜明ルニ從ヒ彼我ノ死傷累々トシテ終夜奮戦ノ跡ヲ忍ハシム

一午前八時頃、聯隊旗入城、城壁上軍旗ヲ迎ヘテ遂ニ違拝式ヲ

行ヒ、聯隊長ノ莊重ナル一ノ歳ノ声ニ和シテ一ノ歳ヲ三唱ス

一午前九時大隊長ノ遺骸ヲ城壁上ニ迎ヘ上陸以來ノ偉大ノ勲功

ヲ德ニ英靈ヲ慰メタル上、大隊本部ノ位置ニ安置ス

一大隊ハ聯隊命令ニ基キ、雨巷門ノ警備ニ任スルト共ニ第十三中

隊ヲ以テ掃蕩ヲ實施セシメ、遂次地歩ヲ西北方ニ擴張ス又

朝來戦死傷者ノ收容整理、人員武器、彈藥ノ調査等戰

後ノ整理ニ努ム

一十月十六日以來小行李其他ノ車馬材料ノ掩護ニ任シタル西山小

隊、及復敵ノ行動ノ概要別冊、西山小隊行動表ノ如シ

一午後一時五分、聯隊命令ニ依リ左記大隊命令ヲ下達ス

大隊命令

一教機編隊ノ下、飛行機ハ南京上空ヲウカカイマルモノノ如シ

二第十中隊より一々小隊ヲ出シ射撃部隊ニ任セシムヘシ  
編成其他ニ就テハ別ニ指示ス

大隊長代理 永井大尉

命令受領者ニ口達ス

一午後五時左記大隊命令ヲ下達シ警備ヲ交代セシム

大隊命令

十二月十三日午後五時  
於南京東南通

一第十中隊第九中隊開口少尉ハ雨巷門（城壁上ヲ含ム）

警備ヲ交代服務スヘシ

交代ノ時期ハ準備終了次第トス

一午後五時頃大隊長遺骸ヲ火葬シ附テ警備ニ支障ナキ

將校本部下士警備ヲ參集告別ス

同時第十二中隊ヨリ一分隊ヲ衛兵トシテ服務セシム

一大隊ハ第十二中隊掃蕩ヲ待ツテ逐次北方ニ推進ス

午後八時十分左記大隊命令ヲ下達シ各隊ハ更ニ至嚴ナル警備

我下ニ露管ス

大隊命令

十二月十三日午後八時十分  
於南京雨巷門北方千米鐵道西側

一占領地区、掃蕩尚全クス相當ノ敗殘兵アレモ、如シ

聯隊ハ現在地附近ニ露營ス

二大隊ハ現在地附近ニ露營セントス

各隊ハ設営者ノ誘導ニヨリ露營スヘシ

三部隊日直將校 天川少尉

巡察將校ヲ兼スヘシ

四<sup>1/2</sup>大隊掃蕩區域北端ノ警備及第十中隊ノ雨卷

門(城牆上ヲ含ム)ノ警備故ノ如シ其他警備各隊

毎ニ敬告戒スヘシ

五敬告急集合所ハ本部西側乾田トス

六給養食ハ携行セルモノニヨルヘシ

七余ハ露營地中央大隊本部ニアリ

大隊長代理 永井大尉

下達法

要旨ヲ傳達シテ後命令ノ受領者ヲ集メテ口達筆記

セシム

大隊日日命令

一第9、11、12中隊ヨリ本部下士官適任者(特ニ能筆ヲ著)各一名選定シ明十四日ヨリ大隊本部ニ於テ勤務セムヘシ

二大隊本部傳令要員トシテ左ノ如ク適任者ヲ選定シ  
明十四日午前八時大隊本部ニ着込スヘシ

一午後九時九日以来聯隊予備隊ヲリシ第九中隊ノ主力復歸ス  
一午後十時半左記聯隊命令ヲ受領ス

聯隊命令

十二月十三日午後十時  
於南京市

一敵ハ既ニ南京市ヲ退却セルモ米ノ城内各所ニ散殘兵アリ  
二各隊ハ掃蕩完了後別紙露營<sub>地</sub>ニ露營スヘシ  
三露營日直將校眞壁中尉巡察將校第<sub>第</sub>藤木津少尉

第<sub>第</sub>藤関口少尉

第七隊中澤少尉

四露營衛兵 第一大隊部隊衛兵トシテ左記人員ヲ第三  
中隊ヨリ<sub>前</sub>ニ速時差出シ日直將校ノ指揮ヲ受ケムヘシ

三 志記 下士一上等兵三、喇以一、一等兵三

勤務交代十五時トス(午後三時)

五 敬告ニ関シ左ノ如ク實施スヘシ

一 露営地区外角ニ對シ少クモテ分隊以上ノ兵力ヲ特ニ

二 衛兵隊(東側)露営地区入口第四同シク北入口(出入口)

第五同シク露営地区西側出入口第一大隊今シク露営

地区南側入口ヲ敬告スヘシ右ノ外各中隊(此ニ準スル部

隊)ハ特ニ自隊露営地区敬告スヘシ

之戰備ノ度各中隊此ニ準スル部隊ハ本十三日夜ハ約半

數ノ人員ヲ待機ノ姿勢カニアルヘシ

六 附本部宿舍(高等<sup>法</sup>露営東側)ニ露営司令官ハ宿

舎西側五十米ニアリ

七 警急集合ニ際シテハ約上ノ兵力ヲ以テ自備<sup>隊</sup>宿営地ノ

警告ニ任シ殘余ノ部隊ハ(高等<sup>法</sup>本院廣場)ニ集合スヘシ

八 住民ニ對シテハ敬告ヲ急ラズ所要ノ訊問ヲ行ヒ敗殘兵

ハ自隊ニテ處分スヘシ相諮詢ハ國定トス

九、余ハ高等陸院聯隊本部ニアリ

聯隊長 矢ヶ崎中佐

會報事項

一、戰死傷者調査報告一件

一、戰死人馬總計表提出一件

一、八日以降射耗彈藥補給彈現在彈數報告

一、獨立行動詳報提出

一、各隊八夜ニ入ルモ尚城外戰場ノ死休ノ收容仕末

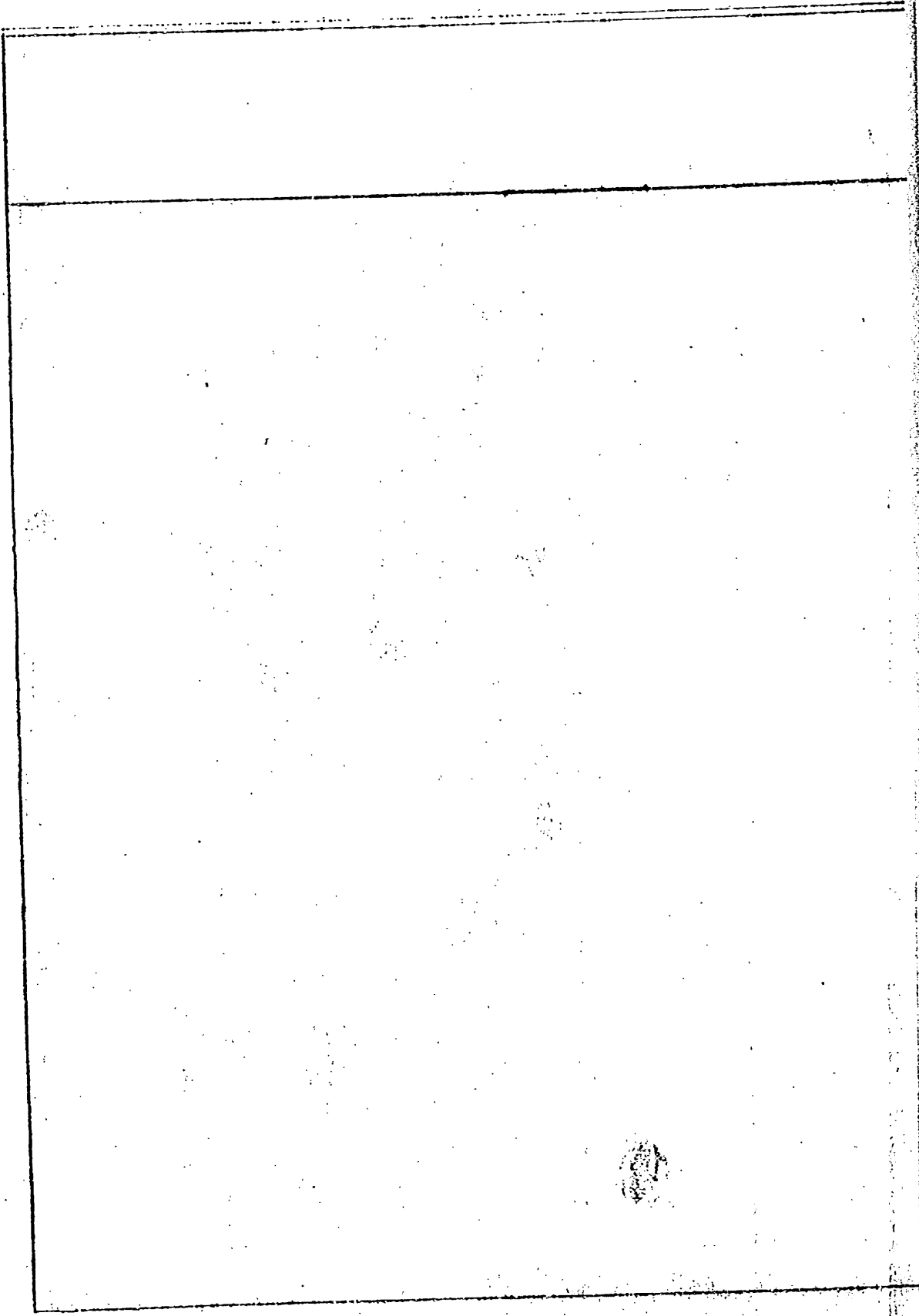
十日ノ戰場ニ殘置ノ北背囊取寄セ等ニテ休養ノ暇ナシ

一、第十一中隊ハ依然兵衛廠ノ警備ニ限シアリ

本日現員 將校四 下士官兵ニ計ニ四名







0987

**国立公文書館 アジア歴史資料センター**

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>